

本書では、画像編集ソフトウェア「Media Impression」のインストールと使い方を紹介します。

注意 本書をお読みいただく前に、必ず「設定ガイド」もお読みください。

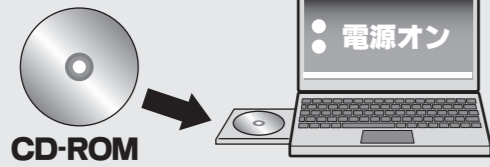
画像編集ソフトウェア「Media Impression」について

『Media Impression』では、主に次のようなことができます。

- ・スキャンした画像を読み込む。
- ・画像の管理。
- ・画像の編集、加工、修正。
- ・メールの作成。
- ・スライドショーの作成。

Windows ソフトウェアのインストール

手順1 パソコンの電源をオンにして、付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに入れてください。



手順2 『Media Impression インストール』をクリックします。

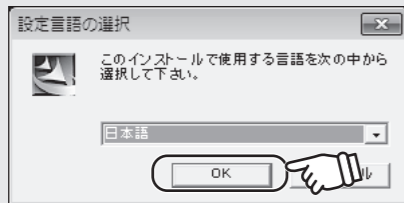
画面が表示されたら、『Media Impression インストール』をクリックします。

画面が表示されない場合は、CD-ROMの内容を表示して『Menu.exe』をダブルクリックします。

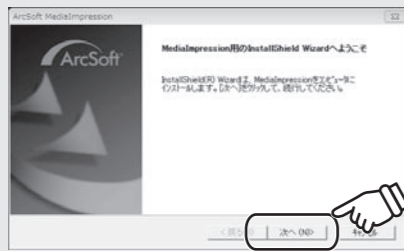


以降、画面の指示に従ってインストールを進めます。

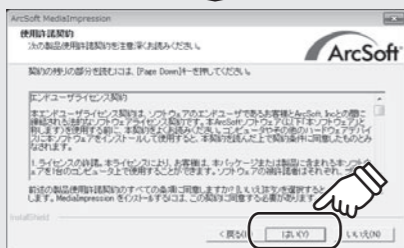
『OK』をクリックします。



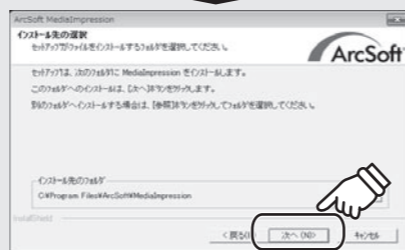
『次へ』をクリックします。



『次へ』をクリックします。



『次へ』をクリックします。



『次へ』をクリックします。

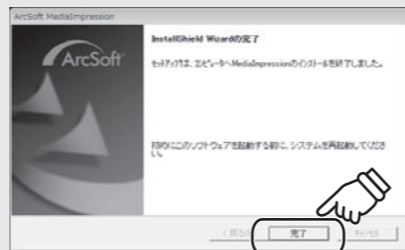
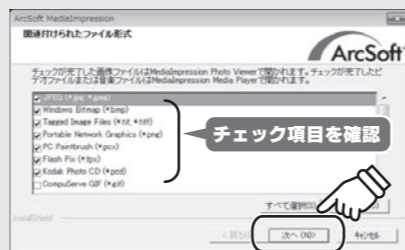


「関連付けられたファイル形式」画面が表示されたら、内容を確認します。

この画面でチェックのついているファイルは、ファイルを表示する際、本ソフトウェアが使用されます。

チェック項目を確認したら、『次へ』をクリックします。

『完了』をクリックしてインストールを終了します。



ソフトウェアを起動する

デスクトップのアイコンをダブルクリックするか、スタートメニューから「Media Impression」を選択して、ソフトウェアを起動します。



Mac ソフトウェアのインストール

手順1 パソコンの電源をオンにします。付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに入れて、CD-ROMを表示します。

手順2 『Media Impression Installer.mpkg』をダブルクリックします。

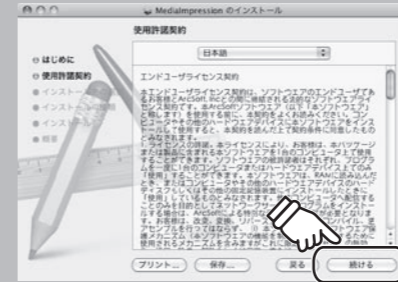


以降、画面の指示に従ってインストールを進めます。

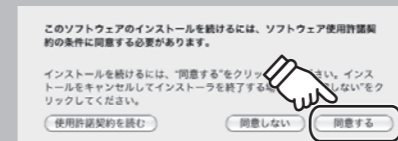
『続ける』をクリックします。



『続ける』をクリックします。



『同意する』をクリックします。



『インストール』をクリックします。

パスワード入力画面が表示されたら、ログインパスワードを入力してください。



『完了』をクリックしてインストールを終了します。



ソフトウェアを起動する

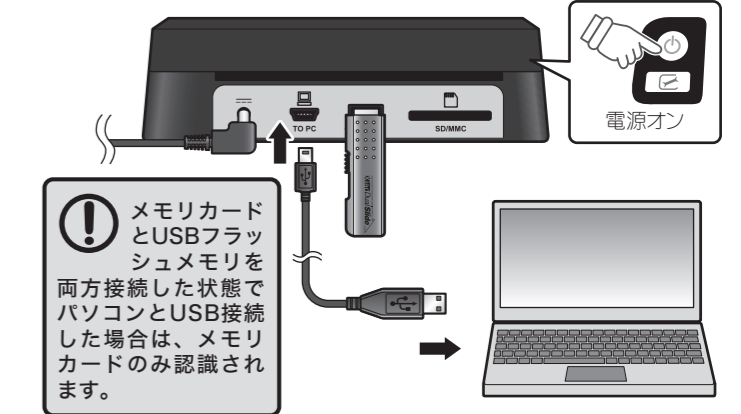
アプリケーションから「Media Impression」を選択して、ソフトウェアを起動します。



スキャンした画像を読み込む

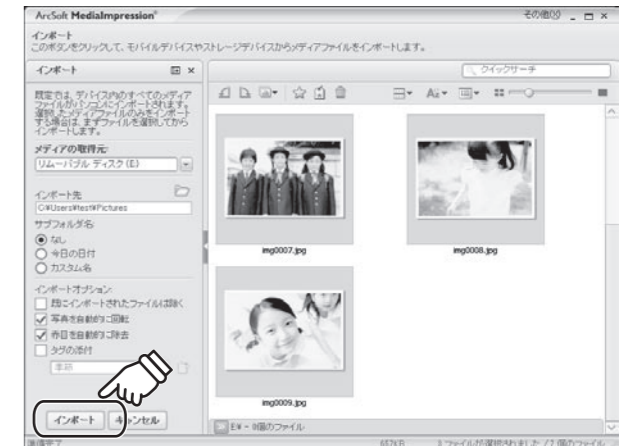
手順1 『Media Impression』を起動します。

手順2 付属の USB ケーブルでパソコンとスキャナを接続します。スキャンする際に使用したメモリーカードまたはフラッシュメモリをスキャナに接続して、スキャナの電源をオンにします。



- SDメモリーカード用カードリーダーをお持ちの場合
カードリーダーをお持ちの場合は、スキャナからメモリーカードだけ抜き取り、カードリーダーを使用してパソコンに接続することも可能です。
- USBフラッシュメモリを使用している場合
USBフラッシュメモリをご使用の場合は、直接パソコンに接続することも可能です。

手順3 「インポート」画面が表示されます。



※画面はWindows の例

メモリーカードまたはフラッシュメモリ内の画像が自動的にインポート画面に表示されます。

「インポート先」を変更すると、画像のコピー先を任意の場所に変更することができます。

「インポートオプション」に印を付けると、画像を読み込む際に自動的に画像処理を加えることも可能です。

「インポート」をクリックすると、画像がパソコンにコピーされます。

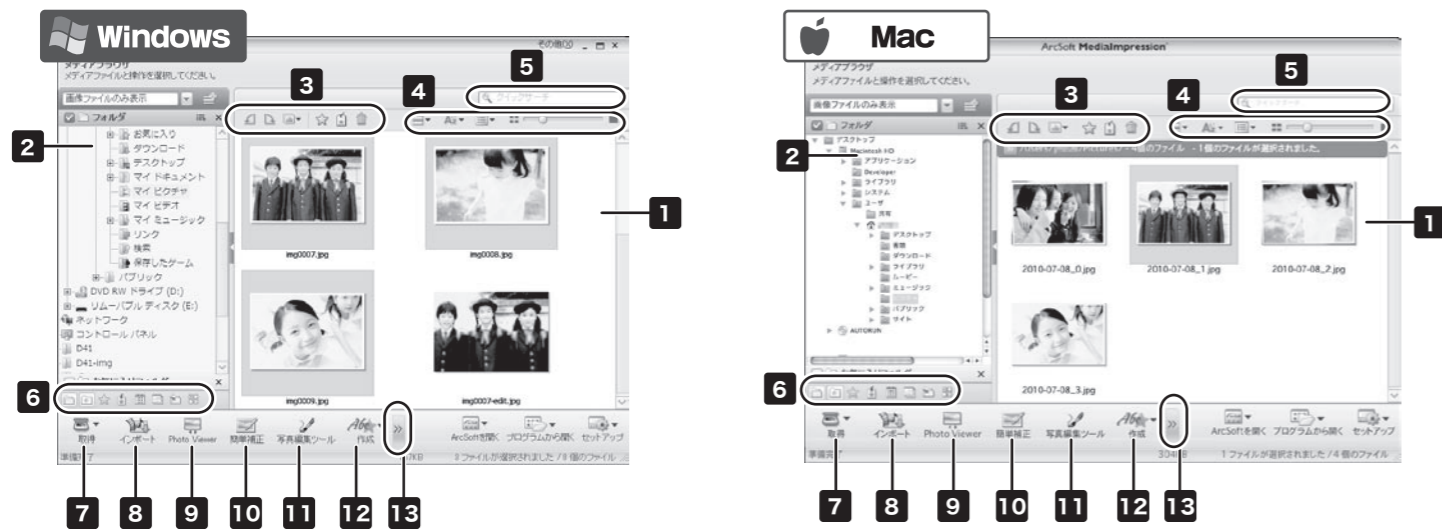
「終了」をクリックして画面を閉じます。



画面表示と主な機能



WindowsとMacでは、一部の機能や名称が異なります。



1 サムネイル表示画面。エクスプローラ画面で選択されている場所に保存されている画像を一覧表示します。

2 エクスプローラ画面。画像の保存場所を選択します。

3 選択した画像の「回転」「一括処理」「レート付け」「タグ付け」「削除」などを行うボタンです。

4 画面の表示方法を変更します。ボタンをクリックするか、スライダーをドラッグすることで、表示が変更されます。

5 検索欄。ファイル名等を入力して、ファイルを検索することができます。

6 画像に設定されている「タグ」や「レーティング」別に画像を表示します。

7 **❗ 本製品では使用できません。**

8 インポート画面を表示します。メモリが接続されているスキャナをパソコンに接続して、「インポート」をクリックするとメモリ内の画像を読み込むことができます。

9 サムネイル表示画面で選択されている画像を拡大表示します。

10 簡単補正ウィザードを表示します。サムネイル表示画面で選択されている画像を簡単に補正することができます。

11 画像編集ツールを表示します。サムネイル表示画面で選択されている画像を修正、加工することができます。

12 クリックするとサブメニューが表示され、画像にフレームを付けたり文字を入れるなどの加工をします。

13 クリックするとサブメニューが表示されます。スライドショーの作成や、メールの作成をします。

基本操作

本ソフトウェアでは、画像の修正や加工、スライドショーを作成するなど、様々な操作が可能です。主な操作は下記の通りです。



1 エクスプローラ画面で、画像が保存されているフォルダを選択します。スキャナで画像を読み込んだ直後は、新たに読み込まれた画像が自動的に表示されます。

2 修正や加工したい画像をクリックして選択します。キーボードの「Ctrl」や「Shift」キーを押しながらクリックすると、複数の画像を選択することができます。

3 「タグ」や「レーティング」を設定したり、「画像補正」など、処理したい機能のボタンをクリックします。

簡単補正ウィザード

本ソフトウェアでは、スキャナで読み込んだ画像を、簡単な手順で修正することができます。

手順1 修正する画像をクリックして、簡単補正ウィザードを起動します。

『簡単補正』をクリックします。



(画面はWindows 7の例)

手順2 簡単補正ウィザード画面が表示されます。

補正を行いたい項目をクリックしてチェックをつけます。



(画面はWindows 7の例)

以降、チェックをつけた補正項目が、順次表示されます。

画面左側のスライダーやボタン等の調整で、補正を行います。



補正が終わったら、「次へ」をクリックして、次の補正項目に進みます。



補正が全て終了したら、「名前を付けて保存」をクリックして、補正した画像を保存します。

一つ前の作業に戻る場合は、「戻る」をクリックします。補正した画像を保存しないで簡単補正ウィザードを終了する場合は、「キャンセル」をクリックします。

写真を編集する

簡単補正よりも、さらに細部を修正することができます。

手順1 修正する画像をクリックして、画像編集ツールを起動します。

『画像編集ツール』をクリックします。



(画面はWindows 7の例)

手順2 画像編集ツール画面が表示されます。

タブをクリックして、補正を行いたい項目を選択します。



画面左側のスライダーやボタン等の調整で、補正を行います。

補正が終わったら、「次へ」をクリックして、次の補正項目に進みます。

スライドショーを作成する

選択した画像でスライドショーを作成することができます。

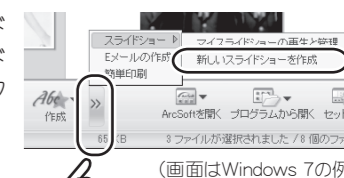
手順1 スライドショーにする画像を複数選択します。

サムネイル表示画面から、画像を選択します。

Windowsの場合、キーボードの「Shift」や「Ctrl」キー、Macの場合は、「Shift」や「command」キーを押しながらクリックすると、複数の画像を選択することができます。

手順2 スライドショー作成をします。

[>>]をクリックして、『スライドショー』→『新しいスライドショーを作成』の順にクリックします。



(画面はWindows 7の例)

トランジションエフェクトやBGMを設定します。

[プレビュー]をクリックすると、現在の設定でスライドショーが再生されます。

設定が完了したら、「保存」をクリックしてスライドショーを保存します。

